



六田知弘写真展

壁

2018.6.28(木) — 10.9(火)

開館時間:9:00~17:00 休館日:毎週水曜日(7月、8月は開館)

入館料:一般1,000円、高校生700円、中・小学生500円

主催:公益財団法人 池田20世紀美術館

後援:伊東市・伊東市教育委員会/静岡新聞社・静岡放送/伊豆新聞本社/IKC/CVA

協賛:ニチレキ株式会社

協力:ギャラリー古今



公益財団法人

池田20世紀美術館

IKEDA MUSEUM OF 20TH CENTURY ART

常設展示

ルノワール・マティス・ピカソ・シャガール・ミロ・ダリ他

20世紀美術の巨匠たち



グラフィックデザイン・写真構成：
上田英司(シルシ)

壁に染み込んだ人々の記憶のかさなり。
その向こう側にほのかに見え隠れする宇宙のゆらめき。
隠された秘密のありかをさがしてカメラ片手に境界線上を浮遊する。



写真家 六田知弘

MUDA TOMOHIRO | <http://www.muda-photo.com/>

1956年 奈良県御所市に生まれる
1980年 早稲田大学卒業
1982年よりネパールヒマラヤ山中の
シェルバの村に暮らして撮影
1988年 最初の個展「ひかりの素足―シェルバを
開催(新宿ニッサロ)」
以降、「自然や宇宙と人間との根源的なつながり」を
遠くに探りながら、仏像や古美術品、
遺跡、壁、石、水、道、人など様々な事象を対象に撮影し、
写真展や写真集を通じて発表する。

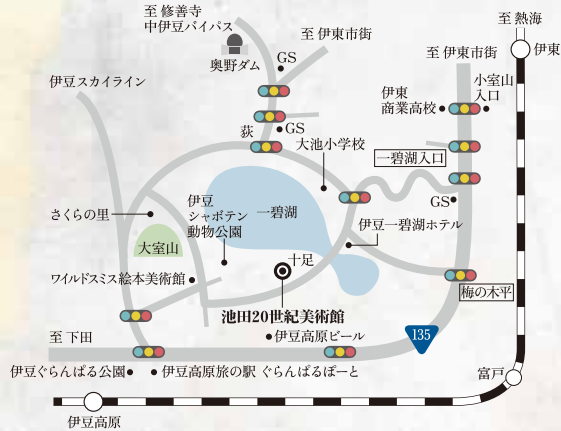
2007年 国立西洋美術館にて
「祈りの中世 ロマネスク美術写真展」を開催。
2008年 中国の「雲岡石窟」の全谷を撮影。
2009年より写真展「サンティアゴ巡礼の道
六田知弘 東洋のまなざし」が世界各地を巡回。
2011年の東日本大震災で津波にのまれ、
打ち上げられたものを撮影したシリーズ「時のイコン」が
写真展「時のイコン―東日本大震災の記憶」として国内外を巡回。
2014年 大阪市立東洋陶磁美術館にて
「運―清らかな東アジアのやまの×写真家・六田知弘の眼」
2017年 奈良県御所市と大阪市で「宇宙のかけら―御所GOSEI」
静岡県伊豆の国市の「知半庵」で「記憶のかけら Shards of Memory」を開催。

主な写真集に
『ひかりの素足―シェルバ』LPCO刊(1990)
『ボリの肖像』シンズルカット刊(2000)
『In Praise of Japanese Beauty―Japanese Aesthetics
Through the Lens of Tomohiro Muda』Cohere社刊(2006)
『雲岡石窟 仏宇宙』富山房インターナショナル刊(2010)
『石と光 シトーのロマネスク聖堂』平凡社刊(2012)
『時のイコン―東日本大震災の記憶』平凡社刊(2013)
『ロマネスク―光と闇にひそむもの』生活の友社刊(2017)

ギャラリートーク
(要入館料)

◎7月7日(土)
14:00~15:00

◎8月4日(土)
14:00~15:00



公益財団法人
池田20世紀美術館
IKEDA MUSEUM OF 20TH CENTURY ART

伊東市十足614 TEL 0557-45-2211 FAX 0557-45-2212 <http://www.nichireki.co.jp/ikeda/>

交通のご案内

- ◎JR伊東駅よりバスで「池田美術館」下車
- ◎伊豆急行・伊豆高原駅よりバスで「池田美術館」下車
- ◎車の方は国道135号又は中伊豆バイパスから一碧湖へ出て当館へ